

環境農業新聞

メール:ecoagri-na@sweet.ocn.ne.jp

2021年(令和3年)

12月15日(水)

第238号

毎月15日発行
平成13年4月17日
第三種郵便物認可

発行所 環境農業新聞社
編集発行人 成瀬一夫
東京都葛飾区東金町1-41-9
〒125-0041 フランス堂ビル3階
電話 03-3826-5212
FAX 03-3826-5217
年間購読料 3,000円(税・送料込)
郵便振替口座 00150-2-29518

- …農と食を考えるシンポジウム…(1面)
- …驚き、岩泉さんの講演…(2面)
- …鈴木教授来賓講演…(5面)
- …アグリビジネス盛況…(8面)

新製品健康野菜ババジスープ

第13回日本の農と食を考えるシンポジウム

コロナウイルスに明け暮れたこの2年。新たなウイルス株の発生、そして、回目のワクチン、それに「食べるワクチン」の開発が進められている。「本来、予防は免疫力を上げウイルスを寄せ付けない体になることだ」と言う日本豊受自然農の由井眞子代表。その由井代表は12月11日に開催された第13回日本の農と食を考えるシンポジウムで火山大噴火での食糧危機リスク、免疫力をアップさせる万能野菜スープ新製品ババジスープを発表、その中味を詳しく述べた。シンポジウムは、印鑑智哉氏、岩泉好和氏、鈴木宣弘氏の講演及び西田つや子氏、会員の体験発表などが行われた。(関連記事2頁、3頁、4頁、5頁)。

火山大噴火で食糧危機に 添加物だらけの食に危険信号

由井代表



オンラインで1,000名以上が視聴し盛会に

行語まで作った東大鈴木教授の「農業消滅」という本を読み、日本は将来必ず飢饉になるといふことはもうすでに計算上でも出されているわけで、そのための食糧危機をテーマにこのシンポジウムやろうと思いました。そして食糧危機について言及。

「食料危機(飢饉)」には2つあり、一つというのは量的な危機。穀類(米、麦、大豆など)や、羊が不足することです。野菜がなかったとしても、主要穀物さえあれば、カロリーば、カロリーも足りるし、生きていけます。でも主食となる穀物が安定供給されないといふ最悪の事態を招きます。まず自給率を上げるために、

た。食、農業は金融経済の輪っかに入っちゃいけないのです。なぜかと言うと皆さんの命の源だからです。本来食糧は国がこれを守って国がみんな買い上げて学校やみんなに配っていくような形が理想です。「今だけ、金だけ、自分だけ」という流れ

人も多くが農業を始め、あわせて米・麦・大豆などの穀類を万に備え、困り個人も備蓄しておきなさいいけないと思ふのです。

もう一つが質的な危機です。食料は山ほどあっても、よい質の食糧が足りない。例えば添加物だらけ、栄養素欠乏、毒性不純物(F1)、遺伝子組み換え作物、ゲノム編集作物、放射線照射などの不自然な食べ物、体に悪い食べ物などが増えていきます。自然にかなうものはないですから、自然な種から始めるべきじゃないの、そこまですかかるとやっつけられる農家がほとんどない。手間暇がかかります。

これこそ免疫力をアップさせる食へのワクチンだ



基調講演を行う由井代表

日本豊受自然農の由井眞子代表は、「食糧危機を乗り越える鍵は自然農にあり」とのテーマで休憩をはさみ2時間の基調講演を行った。

由井代表は今回のシンポジウムのテーマについて「食糧危機を乗り越える鍵は自然農にあり」とのテーマで休憩をはさみ2時間の基調講演を行った。

運命は指導者の優劣に左右 米沢藩主上杉鷹山に学ぶ

由井代表は米沢藩の上杉鷹山藩主について次のように語った。

陸奥国は6年間の天明の大飢饉で9万人の死者を出し他藩に多くの領民

者を出さなかった。彼は藩の財政を立て直し、特に農業振興に力を入れた。農民だけでなく武士も総出で新田開発や開墾を行い、農村では6次産業化の副業で経済力をつけさせた。すぐに米がまた余っている新編な5倍にもあがった米相場の中、緊急に買い付けも

江戸時代は大噴火による大災害の連続だった。1707年、富士山が大噴火し、関東一帯が火

リカプトのような植物だけが問題でない。日本のように公園や校庭、空き地などグリホサートを使い除草したところにはえ

一方、政府は、政府備蓄米100万トンに過ぎないから大丈夫と言っているが、日本は年間約800万トン消費しますから、1.5ヶ月分しかないことなんです。命は自分を守るしかない状況です。ですから皆さん小さくてもいいから今から自分で農業を始めてみましょう。」

由井代表は「遺伝子を壊すということが自然にあるものを壊すという形になり、自然神であるからゲノム編集をするというところは神様を壊すことであり、完全な状態であつたものをあえて不自然な形にするわけですから、病的な作物になるのは否めないのです。自然な状態を壊すことで作物の需性がケンと下がりま

食糧自給率の低さ

日本の穀物自給率は28%しかないんです。飼料用いても38%しかないんです。大豆は4%、畜産、油脂用を除いた食用だと21%の自給率です。それでも低いですね。そして、大麦8%、小麦も13%、コシヒカリはほぼ0%です。頼みの綱である米は、食用が現在100%自給ですが、鈴木教授も言われているように米農家の危機です。種子法廃止、種の供給の危機、種苗法改正、自家採種の危機、米農家に米作りを諦めさせる方向に向かっていきます。その先に、米の食の安全の危機(放射線照射、F1、ゲノム編集、遺伝子組み換え)があります。

その後、遺伝子組み換え、ゲノム編集について何故危険なのか詳しく説明した。